



湯元進一の復帰

湯元進一の復帰

ピックでは55kg級で出場したが、昨

7月4日、和光市総合体育館で開

催された第62回全日本社会人レスリ

変更が行われ、さらに2分3ラウン

ドから3分2ラウンドへのルール変

更が行われ、よりアグレッシブでス

タミナのいる選手が有利に変更され

た。新ルールでの初めての試合でも

完璧な強さを

あつたが、ブランドを感じさせない

試合を展開し、リオ・オリンピック

ではロンドンの銅メダル以上の金メ

ダルを絶対獲得するんだという決意



未来への道 1000 km縦断リレー

1000km 縦断リレー八戸市での出発式で復興への思いを力強く語る小原1尉と米満2尉（円内）

1000 km縦断リレー

7月25日八戸市役所において、『未来
（あした）への道1000 km縦断リレー』
2日目の出発式が行われ、ロンドンオリ
ンピック金メダリストの小原日登美1等
陸尉と米満達弘2等陸尉がゲストとして
登場した。このリレーは被災地域の特に
海岸線を中心に東京までの1000 kmの
道のりをタスキでつなぎ、東日本大震災
からの復興の後押しと2020東京大会
に向けた気運醸成を企図するもので、東
京都及び東京都スポーツ文化事業団が主
催。昨年のスタートは八戸市役所から
だったが、今年は青森市内庁からのス
タートとなった。八戸出身の小原1尉は
昨年引き続き出場となったが、出産を
控え、今回は出発式のみ参加となった。
リレーに参加できない小原1尉の変わり
に、米満2尉が市民ランナーとともに約
2 kmの区間を走った。小原1尉は出発式
で「今年出産予定なので、来年は自分の
子供を抱えて走りたいです」、また、米
満2尉は中継点到着後「オリンピックと
してこのリレーに参加することで、皆様
の復興に対する思いを2020東京へつ
なげる手助けができれば幸いです」と
語った。昨年のこのリレーは2020東
京招致成功に大きな役割を果たしたが、
主催者側では、このリレーを毎年行い、
1年1年復興していく姿をリレーを通し
て世界に情報発信し、2020東京開催
成功につなげていきたいと考えている。